



広報

いしかわ

1994

10月

OCTOBER

第417号

■平成6年10月10日発行



伝統を受け継ぐ秋まつり

伝統を受け継ぐ石都々古和気神社の例大祭は9月14日・15日の両日、秋雨の降る中、盛大に執行されました。

主な内容

- ▶ デイサービスがスタート……………2～3P
- ▶ 国際交流事業・オーストラリア研修…4～5P
- ▶ 石川中学校が姉妹校を締結……………6～7P
- ▶ 町のわだい……………8～9P
- ▶ みんなの広場……………10～11P
- ▶ お知らせコーナー……………12～14P

高齢社会を迎え

デイサービスがスタート

石川町の六十五歳以上の人口は、3,721人(九月一日現在)で全人口の約一七・六パーセントを占めています。人生八十年時代の高齢社会を迎え、石川町では昨年九月に『石川町老人福祉計画』を策定し、お年寄りが安心して日常生活が送れるように、さまざまな事業を行っています。今年の四月にオープンした特別養護老人ホーム「さくら荘」では、九月五日からデイサービスがスタートし、また各地区では敬老会などの催しが盛大に行われました。



▲リフト付きバスでお出迎え、楽しい一日のはじまりです

デイサービスの1日

時間	内容	備考
9:00	バスでお迎え	おはようございます。今日も楽しく
10:00	さくら荘到着	気分はいかがですか…(健康チェック)
10:30	日常動作訓練 クラブ活動	歩行訓練・手指訓練・マッサージなど みんなで身体を動かして
12:00	昼食	みんなで楽しく、今日のメニューは…
13:00	入浴・懇談	安らぎのひととき、お風呂は最高
15:00	バスでお帰り	来週またね

デイサービスで 楽しい一日を

特別養護老人ホーム「さくら荘」では、九月五日からデイサービス事業がスタートしました。この事業は、病気などで家族の介護を必要とする六十五歳以上のお年寄りをリフト付きバスで送迎し、生活

指導や日常動作訓練、入浴、給食サービスなどを行うものです。デイサービスは、一日十五人までが利用でき、料金は五百円です。ご利用を希望される方は役場福祉係までご連絡ください。デイサービスの一日を写真で紹介します。



▲輪投げゲームで楽しいひととき



▲体調はいかがですか(健康チェック)



▲お風呂でさわやか(入浴サービス)



▲今日のメニューは?(昼食サービス)

皆さんに会えることが
とても楽しみ



藤原マサエさん
(沢井字清水窪)

二十七歳で関節リウマチをわずらい、十年前からは歩行困難で、日常生活も自分ひとりではできない状態でした。九月からデイサービスがスタートすると聞いて申込み、皆さんと会って話ができ、とても楽しい一日を過ごしています。

(敬称略)

石川町長寿番付表

9月15日
現在

西					審判	東				
同	同	同	小結	大関		同	同	小結	大関	横綱
渡邊ハツ	二瓶ヨシ	添田ハル	福田セン	野内テフ	町長 鈴木 信夫 老人クラブ 連合会長 木田 重喜	吉田チエ	林ノブ	宗形イネノ	小豆畑ツエ	鈴木 トシ
九五	九五	九五	九五	九七		九五	九五	九五	九六	九九
母畑字清水作	中野字竹下	湯郷渡字米子平	湯郷渡字米子平	新屋数字鳥内	行司	南町	南町	塩ノ平	猫啼	高田
九三	九三	九三	九三	九四		九三	九四	九四	九四	九五
同	同	同	同	前頭	行司	同	同	同	同	小結
郷キク	橋本スエ	岩谷金重	戸羽キヨ	近内 始		吉田サク	内沼はつ	吉田千代	吉田トクエ	菊池よし
九三	九三	九三	九三	九四	行司	同	同	同	同	前頭
新屋数字雀	山形字若林	中田字中野	南山形字中野沢	谷沢字榎町		下泉	塩ノ平	新町	塩ノ平	塩ノ平
同	同	同	同	前頭	行司	同	同	同	同	前頭
遠藤スミ	木村ミナ	小木吉藏	添田チカ	塩田 菊一		諸岡キエ	永田トラヨ	城野セン	丹内リウ	二瓶亥三郎
九二	九二	九二	九二	九二	行司	九二	九二	九二	九二	九三
板橋字沢古屋	中田字高野	板橋字道ケ作	北山形字沢尻	湯郷渡字銭神		南町	下泉	石田	当町	下泉
					曲山 三郎					
					塩田 武					
					永沼 武雄					
					中島 寿吉					
					近藤 隆					
					高原 栄正					
					石川老人クラブ					
					沢田老人クラブ					
					山橋老人クラブ					
					中谷老人クラブ					
					母畑老人クラブ					
					野木沢老人クラブ					

おじいちゃん おばあちゃん 長生きしてね

各地で盛大に敬老会を実施

長年にわたり社会に尽くされたお年寄りの労をねぎらう「敬老会」が、九月四日の外楨地区を皮切りに各地区で行われました。

今年の敬老会に招待されたお年寄りは、大正十三年十二月三十一日までに生まれた二千四百三十人で、昨年より百四十四人多くなりました。

各地区では、区長さんを中心に各種団体などが協力し、趣向を凝らした地域ぐるみの敬老会が盛大に行われました。

式典では、町から招待者全員に敬老祝金や老人クラブ功労表彰、八十歳以上夫婦健在者に記念品などが贈られ、さらに八十五歳以上の人には、県からも祝金が併せて贈られました。

おじいちゃん、おばあちゃんこれからも元気で、長生きしてくださいね。



「八十歳以上夫婦健在者表彰を受ける小野廣嗣・マサコ夫婦（沢田地区）」



「七百六十人の招待者（石川地区）」



「楽しい余興がいっぱい（外楨地区）」

寝たきりのお年寄りを「友愛訪問」

病气やけがで寝たきりの方を励まし、ひとり暮らしのお年寄りの寂しさをやわらげようと九月二十日、友愛訪問が行われました。

今年八十五人の方々に、町と町社会福祉協議会から寝たきり介護用品などが贈られました。

町内でも高齢者人口の増加に伴い、ひとり暮らし



▲鈴木町長から慰問品を受ける佐藤トミエさんや寝たきりのお年寄りが増える傾向にあります。家族や地域が協力しあい、高齢者にやさしい町づくりをみんなで考えていかなければならないと思います。

10日間

トラリア研修



▲石川町国際交流事業を紹介した地元の新聞



▲現地で歓迎を受ける子供たち



▲ホストファミリーとの対面。ちよっぴり緊張…



▲ブッシュダンスパーティーで西牧庸子さんが詩舞を披露

石川町国際交流事業・オーストラリア研修は七月二十八日、石川町を出発し楽しい思い出と熱い感動を胸に八月六日、元気に帰国しました。国際交流事業は、二十一世紀を担う青少年の国際感覚を育成する目的で毎年行われ、今年で五回目。今回のオーストラリア研修には、高坂啓作教育長を団長に中学生二十三人、高校生五人が参加。また、成人者三人が参加し、学生と成人に分かれて研修が行われました。

研修最大の目的、六日間のホームステイでは、不安と緊張感でいっぱいだった研修生も、ホストファミリーの優しさに触れ、別れの朝には涙を浮かべ再会を誓うまでに交流を深めることができました。

日本から遠く離れ、言葉や生活習慣の異なったオーストラリア研修。研修生にとってこの十日間は、生涯忘れることのできない貴重な体験となりました。



西川道子さん (矢ノ目田)

「キララの翼」で

福祉の国へ

八月一日から六日間のオーストラリア研修に、成人者四人で参加してきました。私たちは、今回の研修を楽しく意義あるものにしたと考えて、「キララ・石川の翼」と名付けました。オーストラリアは平等主義の

国、お互いに尊敬しあい、助け合う仲間意識が重んじられ、何事にもそれらが反映されています。ボランティアの数も多く、また、母国イギリスの「ゆりかごから墓場まで」の言葉通り八十四年も前に、二種の福祉年金が導入され、医療や高速道路は無料でした。

今回は、シドニー大学と有料老人ホームの見学でしたが、今後もこの研修企画に多くの方が参加され、もっと広く、深く見聞を広められれば素晴らしいと思います。

研修のあしあと(学生)

8月6日	8月5日	8月4日	7月31日 ～8月3日	7月30日	7月29日	7月28日
ケアンズ空港から成田へ石川町到着	グリーン島、グレートバリアリーフで世界最大のサンゴ礁を見学	ホストファミリーとのお別れシドニーからケアンズへ	ウエストウォールセントハイスクールへ通学 ホームステイで生活体験	ハンター地区のホストファミリーと対面、各家庭へ	シドニー市に到着 ハーバーブリッジ、オペラハウスなどを見学	石川町を出発 成田空港からオーストラリアへ

見て ふれて 体験できた 感動の

＝国際交流事業・オース



「ぜひ、もう一度行きたい」

私はこのオーストラリア研修で、たくさんの方を学ぶことができました。特に、言葉が通じない時の不安と緊張感は、今でもはっきりと覚えています。オーストラリアに行く前は、会話が通じなくても、単語だけでもいいから話そうと思っていました。でも実際に話してみると、相手の話していることはだいたいわかるのですが、自分が話そうとすると、なかなか文章になりません。「勉強不足だ」と痛感させられました。

5日間のホームステイでは、ホストファミリーと湖に出かけたり、トランプやダンスパーティなど、楽しい毎日を過ごすことができました。そしてお別れの日、「もう会えない」と思ったとき、泣きたくないのに涙が目にはうっすらと浮かんできました。僅か5日間過ごしてただけなのに、別れがこんなに辛いなんて思ってもいませんでした。貴重な体験ができたオーストラリア研修。ぜひ、もう一度行きたいと思います。



「楽しかった10日間」

楽しみにしていた大自然の国、オーストラリアでの研修。初めての本格的な英会話。異なった文化、生活習慣の中でのホームステイ。振り返って見ると何もかもが新鮮で不安と緊張の連続でした。

ホームステイ初日、言葉が通じなくて、本当に4日間も過ごせるのだろうかかと不安でしたが、ホストファミリーは、ジェスチャーや辞書を使って一生懸命に理解してくれました。日に日にホストファミリーとも交流が深まり、楽しい思い出がたくさんできました。

最後の朝、涙の別れとなり、僕は友情に国境はないことを実感しました。この5日間という短い中で、充実した生活を送れたのは、ホストファミリーの明るく好意的な受け入れによるものだと思います。

このオーストラリア研修は、異国の人々との交流、そして大自然とのふれあい、ホームステイの体験など、僕にとって一生忘れることのできない、思い出の10日間となりました。



▲友好の記念植樹（ウェストウォールセント校）



▲友達もたくさんできました



▲教育状況を視察する成人研修生



「お元気で、また会いましょうね！」
やさしかったホストファミリーとの別れ



▲グレートバリアリーフで
シュノーケルを体験

さらに、あの青い空、美しい海、豊かな森林に囲まれたレック・マツコリー市など、すべてが新鮮で強烈に私たちに印象づけてくれました。

参加されました皆さんの国際交流はこれからです。この素晴らしい体験や学習を、今後の学校生活や社会生活の中で大いに役立てていただくことを希望します。



高坂啓作団長

素晴らしい体験を
今後に役立てて

平成六年度の石川町国際交流事業・オーストラリア研修は、去る七月二十八日より八月六日までの十日間、中学生二十八名、引率者五名の三十三名で実施され、研修生の積極的な参加態度により無事終了することができました。

十日間の研修では、五泊六日のホームステイを通しての家族とのふれあいやウエスト・オウルゼントハイスクールでの体験入学、夜中まで踊ったお別れパーティなど異国の文化・歴史・国民性等に接することができ、素晴らしい体験であったと思います。

石川中学校が姉妹校を締結

石川町の国際交流事業も、今年で五年目を迎えました。国際交流事業は、二十一世紀を担う子供たちの国際感覚を養う目的で、実施されてきましたが、さらに充実した交流を図りたいとの考えから、昨年からオーストラリア研修で交流を深めているウエストウォールゼントハイスクールと石川中学校が姉妹校を結ぶことになり九月二十六日、姉妹校調印式が石川中学校で行われました。



▲石中・味戸隆祥生徒会長とスコット・マックリスター君が両校の交流を誓いガッチリ握手



▲姉妹校締結を記念して、両校生徒が記念植樹

今後の両校の交流と発展を誓う「姉妹校提携合意書」調印式には、ウエストウォールゼントハイスクールから代表して、デイヴィット・ツイート先生が出席し、石川中学校の棚瀬英一校長と姉妹校提携合意書を取り交わし、両校の生徒代表が固い握手を握りました。ウエストウォールゼントハイスクールは、シドニー市から約百六十キロ離れたレイクマッコリー市にあり、生徒数は六百人。日本語の勉強がとても盛んで、石川中学校との姉妹校締結を心から喜んで受け入れてくれました。

世界に視野を広げる生徒に



石川中学校
棚瀬英一校長

オーストラリアのウエストウォールゼントハイスクールの皆さんをお迎えし、本校生徒との直接交流ができたこと、大変うれしく思います。たった一日の体験入学ではありましたが、オーストラリアの生徒たちが、本校の授業や学校行事に参加し、石川町の生徒と一緒に学校生活を送られたことは、貴重な体験だったことと思います。

休憩時間には、辞書を片手に日本語と英語の飛び交う、ほほえましい交流風景があちこちに見られました。言葉が直接伝わらなくても、気持ちが通じることのすばらしさを感じました。ややもすると日本人は、引っ込み思案といわれますが、先入観にとらわれずに温かく見守ってやりたいものです。

今後は、姉妹校として両校生徒の物心両面にわたっての交流を継続的に行い、世界に視野を広げる生徒が一人でも多く輩出する国際交流を目指していきたいと考えます。

両校の発展とさらなる交流を願う

今回結ばれた「姉妹校提携合意書」は、

一、両国文化の相互理解の促進と、個人および学校間の交流の拡大を通じて、国際理解を深めることを目的とする。

二、両校を代表して校長が、教育課程資料、学校関係の情報交換に同意する。

三、両校間でパソコン通信の促進に努める。

四、生徒同志の交流（手紙、学級新聞等の交換）を通じて、両校の

友好関係を促進していく。
五、両校生徒の相互訪問の促進に努める。

六、現地の新聞等で地域の理解を得ながら姉妹校の発展に努力する。の六項目です。

調印式が行われた石川中学校では、姉妹校締結を記念して植樹が行われました。

記念植樹には、両校の生徒によって、同校の校庭に「白もくれん」が植えられ、今後の両校の友好を誓いました。

歓迎ようこそいしかわへ



▲「石川町へようこそ…」歓迎のあいさつを述べる鈴木町長

オーストラリアの子供たちが 石川町でホームステイ

今回の姉妹校締結に併せてウエストオーストラリアセントハイスクールの生徒ら二十一名が、九月二十四日から二十八日までの五日間、石川町を訪れ、ホームステイなどで日本の生活習慣などを体験しながら交流を深めました。

二十四日に行われた歓迎式では、鈴木信夫町長が「石川町での楽しい思い出をたくさん作ってください」と英語で歓迎のあいさつを述べ、迎えに来たホストファミリーと対面。二十五日には、母畑レークサイドセンターで餅つき交流会が行われ、きねを使つての餅

石川町での楽しい思い出を



忘れられない良き思い出

橋本 正子さん (立ヶ岡)

オーストラリア青少年受け入れ事業でホスト役が、我が家に決まってからは、子供たちはもちろんのこと、私たちは心配と不安の日々でした。特に心配だったことは、言葉です。娘たち二人が「通訳はまかせて」と言ってくれたものの、やはり何となく気の重い毎日でした。

ところが、ホームステイをした子供たちは、あいさつは日本語で、しかも私たちより丁寧に話すのでわかりやすく、また表情が豊かで明るい笑顔に逆に励まされたように思います。家では掃除や台所仕事などを手伝ってくれました。「ありがとう」と言ったら、「どういたしまして」と言われて驚きました。多少の生活習慣や食生活の違いがあっても、やはり思っていることは同じようです。

私は言葉では娘にたよりきりでしたが、夜はお茶を飲みながら、家族のことや学校のことなどたくさん話す機会を持って、また各行事にも一緒に楽しく参加できたことなど、今はとても幸運だったと思っています。

4泊5日という短い期間の中で、彼女たちに何を残せたか心配ですが、私たち家族にとって、忘れられない良き思い出となりました。



▲きねで餅つきに挑戦。ヨイショ、コラショ



日本の餅を食べるのは初めて。でも、ハシを上手に使う、あんこ餅やきな粉餅を食べていました。

研修報告会開催のお知らせ

今回の石川町国際交流事業・オーストラリア研修の報告会を十月二十一日、午後六時から石川共同福祉施設で行います。

研修生の皆さんが体験できた感動や思い出の数々が、報告されますので、来年の石川町国際交流事業に参加を希望する方はもちろん、国際交流事業に興味のある方は、ぜひ参加してください。

▶石川中学校での歓迎会。味戸生徒会長が「両校の交流を深めましょう」とあいさつを述べました。





▲金沢春香さんらのテープカット



▲華やかに進行する石川小学校鼓笛隊

秋の全国交通安全運動がスタートした九月二十一日、荒町から新町までの商店街で鼓笛隊パレードが行われ、交通事故防止を呼び掛けました。

鼓笛隊パレードには、石川文化幼稚園の園児や町内五つの小学校の児童、交通安全母の会等の交通安全関係団体など、約六百人が参加して行われました。

出発式では、鈴木信夫町長と須釜衛警察署長が「悲惨な交通事故をみんなの力でなくしましょう」とあいさつし、石川小学校六年の田代美貴さんが「元氣に行進しましょう」と出発宣言をしました。

パレードは、中谷第一小学校六年の金沢春香さんらのテープカットでスタートし、園児、児童らの素晴らしい演奏と行進に沿道からは、大きな拍手が送られました。

今年になって町内では、二件の死亡事故が発生しています。ドライバーも歩行者も交通ルールを守り、悲惨な交通事故をなくしましょう。

交通安全鼓笛隊パレードに600人が参加



「元氣に行進しましょう」と出発宣言をする田代美貴さん

いつもきれいにありがとう

長年にわたり野木沢駅の清掃活動をされている佐藤リンさん、円谷シナさん、佐藤正男さん、大井産商、中野・塩沢・曲木の各長寿会に9月20日、磐城石川駅長から感謝状が贈られました。

野木沢駅は、昭和45年に無人駅となりその後は、地域住民と利用者の協力で、駅の清掃活動が行われています。当日も早朝から、二瓶綱仁さんから50人が駅の周辺の清掃を行いました。

駅は町を訪れる人の玄関口です。みんなできれいに使いましょう。



シェルビー先生 体験記 パート2

石川町のお祭り



南町大通りは大勢の人でいっぱい。人々の「セイヤ、セイヤ」の掛け声や笛に合わせて、みこしが上へ下へと練り歩いています。私の目は、おみこしの頂上にいる、お相撲さんがするような“ふんどし”姿の人に釘づけになりました。

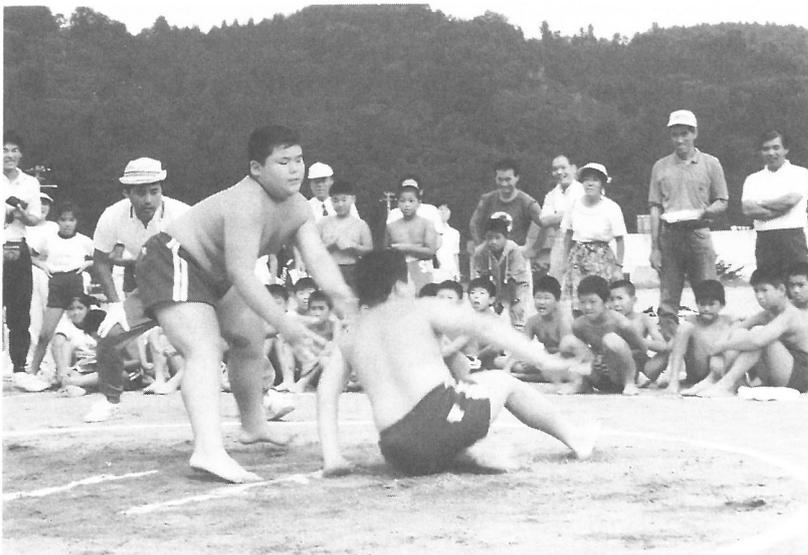
私はこのような場面を見たのは、生まれて始めて。すると、私はみこしをかつぐように言われました。「まあ、そんなに重くはないだろう」と思い、みこしに加わりました。ところが、その重いなんのつて、私は今までこんなに重い物をかついだことはありませんでした。それに私は、背が高いので腰を曲げてかつがなければならず、ほとんど力が入りません。他の人達はあんなに重いみこしを長時間かつぐことができ、しかも掛け声を掛ける元氣があることに、とてもびっくりしました。

とにかく、石川町のお祭りは、私にとって信じられないほどすばらしく、「日本に来てよかった」と感動させてくれました。

町のわだい



食欲の秋・スポーツの秋・芸術の秋。皆さんはどんな秋を…。



▲強いぞ！5年生横綱の西倉君



石川小六年溝井君の選手宣誓



女子もなかなか強いぞ！

少年石川場所で582人が激突

した。

個人戦で横綱に輝いた力士は

次の通りです。(敬称略)

1年▽男子 中村 嘉仁(石川小)

女子 田谷 美穂(野木沢小)

2年▽男子 鈴木 彰人(野木沢小)

女子 小林田里恵(野木沢小)

3年▽男子 富岡 勝也(石川小)

女子 横川奈津実(糸田小)

4年▽男子 土田 忍(中谷一小)

女子 小松 彩(南山形小)

5年▽男子 西倉 武利(石川小)

女子 大森 麻貴(糸田小)

6年▽男子 遠藤 満(山形小)

女子 藤田 千恵(糸田小)



▲「がんばれ〜」大きな声援が送られました

親善武道大会で石川町が総合優勝

石川町と姉妹都市を結んでいる、宮城県角田市との第18回親善武道大会が9月18日、学法石川高校武道館で行われ、白熱した試合で交流を深めました。

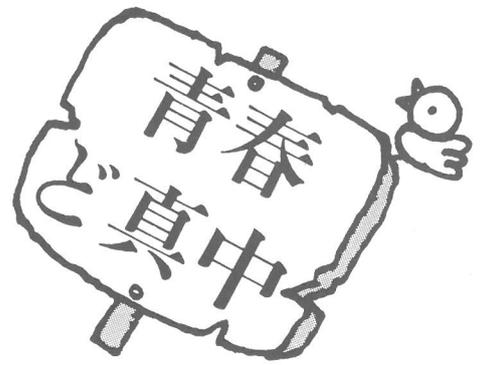
大会には、角田市から130人の選手、役員らが来町し、小学・中学・高校・女子・一般の5種目に分かれて競技が行われ、柔道・剣道の両部で石川町チームが総合優勝しました。



～なかだの森で音楽会～

今年で6回目を迎えた“なかだの森の音楽会”は9月10日、中谷第二小学校体育館に東京ベートーベンカルテットを迎えて行われました。

ススキやコスモス、栗などの草花が飾られたステージからは、ベートーヴェンやドヴォルザークなどのクラシック音楽が響き渡り、会場に詰めかけた250人の聴衆は、“芸術の秋”を満喫しました。



緑川好孝さん(20歳)
山形字大下409



▲右が緑川さん

職業▽石川消防署に勤務し、主に町内の地理、危険箇所等の調査や消防訓練に励み、万一の火災、救急に備えています。

▼今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか

私は高校時代剣道部に所属していました。友達と一緒に汗を流して、頑張っていたあの頃が忘れられず、最近また始めました。

毎週水曜日、石川町武道館で楽しく、のびのびと練習しています。集まって来るメンバーは、みんないい人たちなので、少しでも上達できるように、頑張っています。

▼将来の夢を聞かせてください
どんな小さな事でもみんなが助け合い、あらゆる困難にも負けない家

庭をつくりたい。そんな家族と世界中を旅行してみたい。

▼町政に望むことは何ですか

県内の人でも石川町がどこにあるのかわからない人がいます。それは、住民として、とても救済のことです。

石川町の長所をもっともっとアピールし、多くの人に知ってもらうのは勿論のことですが、たくさんの方が訪れたいような町づくりをして欲しいと思います。

また、子供からお年寄りまで、みんな楽しく過ごせる施設が欲しいです。

▼最後に、理想の女性のタイプは
明るくて、やさしく、活発な人が理想です。

次回は、

緑川さんの紹介で
江尻光子さんです。

なりの場

私からのメッセージ

学法石高1年 我妻 優子さん

最近、私が気になっていることは、「ゴミ」の多いことです。特に目につくのは、空き缶です。ちゃんと自動販売機の近くに屑かごが設置されているのに、わざと道端に捨てるのは一体どういうことなのでしょう。もっとひどいのは、走っている車の窓から平気で捨てるのです。その光景を見たとき、私はとてもショックでした。

その日から数日後の朝、いつものように登校していると、70代ぐらいのお年寄りがゴミ袋を持って、土手や山に登って空き缶などを拾っていました。そのとき、朝からお年寄りが、私たち10代20代の青少年の捨てたゴミを始末しているなんて、とても申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。皆さんはこのことについて、何か思いませんか。

石川町外の人が来た時、「石川町はゴミ一つない、きれいな町だ」と思われたいですよね。

美しい環境とは、自分の手で1つ1つ丁寧にやった結果、誰もが口にする言葉なのです。

*このコーナーでは、皆さんから寄せられた文章を掲載していきますので、「石川町をもっと良くするには…」といったご意見を広報担当までお寄せ下さい。

文化財紹介

ふるさとの宝物を探そう



七鍬石の伝説
(中谷地区)

むかしのこと、今の双里から谷地までは、葦や茅の茂る原っぱであったそう。しかし、だんだんとそこに住む人が増えてきて、向こうの山岸とこつちの山岸に道ができて、だんだんに田んぼが開かれていったそう。

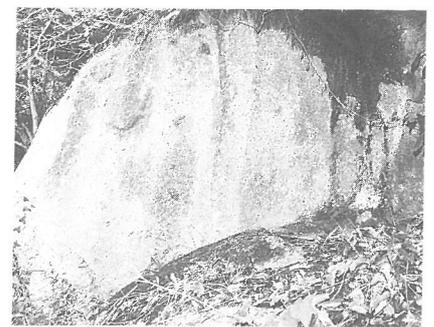
その年は春から天候が不順で、五月というのに雪が溶けず、田を耕すこともできない日が続き、その上、去年よりの流行病も治らず、人々は大変困り果てていたそう。

そうしたある日、どこからか弁慶という大きな男が七本の刃の付いた大きな鍬を持ってきて、谷地の方から田を耕し始めた。

谷地から坂路・谷沢へと田を耕してきたのだが、谷沢の京賀の内の下まで来るとお昼になってしまった。大男は腰にぶら下げていた大きな弁當を取り、そこにあった橋に腰をかけて弁當を食った。(その橋は、今でも弁當橋と言われている) 大男は昼

休みもせずに、形見・上双里へと一生懸命耕し続けてきたが、あまり鍬を使い過ぎて鍬の刃が切れなくなってしまうので、近くの石で鍬の刃を研ぎ始めた

と伝えられている。今でもその石には、七本の鍬の刃形が付いており、七鍬石の地名にもなっている。



▲7本の鍬の刃形が付いている石

▶八景島シーパラダイスにて



高木 徹さん(26歳)
笑子さん(26歳)

住所：双里字本宮11の2



このコーナーでは、結婚された方や結婚前のホットなカップルを紹介致します。

◆ ◆
♥二人の出会い

友人の紹介で居酒屋「幸助」で知り合いました。

♥お互いの魅力を教えてください

(徹さん) いつも笑顔を絶やさず、周りの雰囲気
を明るくしてくれるところです。

(笑子さん) 正直で男らしいところです。
ちよっぴり照れ屋のところも
素敵です。

♥二人の夢は何ですか

いつまでも恋人どうしのような夫婦でいる
こと。「大草原の小さな家」のインガルス一家のよ
うな笑顔を絶えない明るい家庭をつくることです。

♥石川町の一番好きなところを教えてください

石川町に住んでいる人は、人情にあふれ温かい心
を持っています。中谷一小的保護者の方や石川武道館で
お世話になっている皆さんには、本当に感謝しています。

♥町政に望むことは何ですか

クリスタルパークに完成した総合体育館を町民の皆さんが、もつ
と気軽に利用できるようにして欲しいと思います。また、体育館に
トレーニングジムの施設を作って、低料金で利用できるようにして
欲しいと思います。

◆ ◆
(登場者を募集しています。連絡は総務課まで)



食改だより

～動脈硬化予防にも、ひと役～

❖ イワシの香味おろしがけ ❖

背の青い魚(イワシ、サンマなど)の
おいしい季節になりました。これらの魚
の油のエイコサペンタエン酸が動脈硬化
予防にいい働きをしています。ピリッと
辛いのが、食欲をさらにそそっておいし
いですよ。

材料

(4人分)

イワシ4匹、たれく大根 $\frac{1}{2}$
本(250g)、にんにくみじん切り1かけ、
しょうがすりおろし1かけ、赤唐辛子1
本、万能ネギ小口切り3本、しょうゆ大
4、酢大3、ゴマ油大 $\frac{3}{2}$ 、片栗粉、揚
げ油

作り方

①イワシは、三枚におろし
ます。②大根はおろし、ザ
ルに上げ水気をきる。赤唐辛子はへたを
切り落とし、種を除いて小口切りにする。
ボールにたれの材料をすべて入れ混ぜ合
わせる。③イワシの水気をふき、片栗粉
を全体に薄くまぶす。揚げ油を中温に熱
し、イワシを入れからりと色良く揚げる。

④器に盛り、たれをかける。

ひろげよう

ボランティアの和

「ボランティアに興味を持ち、
やってみたいと考えても、どうし
たら良いのかわからない」という
多くの声を聞いて結成しました。
私たち「やさしく助け合う仲間
のボランティアネットワーク」は、



個人や団体でこれまで、ボラン
ティア活動してきた人達やこれか
らやってみたいという皆さんを対
象にネットワーク化し、ボランテ
ィアを必要としている所への協力
や自分がやってみたいというボラ
ンティア情報を提供する活動を進
めています。
子供から大人まで、行動する自
分が生きて生きていると感じるよ
うな会をめざし、また町民の総ボ
ランティアを夢みて、肩肘張らず
にをモットーに活動していきたい
と思っています。
現在会員は百六十名を越え、個
人・団体共に入会者が増えてきて
います。
難しい規約等は持たず、本人の

熱意と自覚と行動からなるこの会
へ、皆さんもぜひ入会してくださ
い。入会希望者、また興味のある
方は事務局(石川町勤労青少年ホ
ーム)までご連絡ください。



▲ボランティアネットワークの皆さん



月・日	内 容	場 所
10/21~23	中央公民館文化祭(盆栽展)	中央公民館
10/22	中谷第一小学習発表会	中谷第一小学校
10/23	石川小・母畑小・南山形小 学習発表会	各 小 学 校
10/23~24	石川中学校祭	石川中 学 校
10/29	野木沢小・中谷第二小 学習発表会	野木沢小学校 中谷第二小学校
10/30~31	沢田中学校祭	沢田中 学 校
10/30	石川吹奏楽団定期演奏会	町 体 育 館
11/ 1~ 3	山橋・野木沢・沢田地区 公民館文化祭	各 地 区 公 民 館
11/ 2~ 6	中央公民館文化祭	中央公民館
11/3・5・6	中谷地区公民館文化祭	中谷地区公民館
11/ 5~ 6	石川町歴史民俗資料館 移動展	野木沢地区 公 民 館
11/ 6	福島県立博物館移動講座	共同福祉ホール
11/12	親子映画会・町民映画会	共同福祉ホール
11/19	文化協会主催映画会	共同福祉ホール



悩みや苦情はまず相談!
~秋の行政相談週間~

10月16日(日)~22日(土)までの一週間は、「秋の行政相談週間」です。

行政相談員は、いつも自宅で相談に応じていますが、週間中、次のところに行政相談所を開きます。

行政等に関する苦情や要望、意見など、お気軽にご相談ください。無料で秘密厳守

【日 程】

🍁10月16日(日) 午後1時~3時
山橋地区公民館

🍁10月17日(月) 午後1時~3時
野木沢地区公民館

🍁10月21日(木) 午前10時~午後3時
中央公民館 県政相談と合同で開催

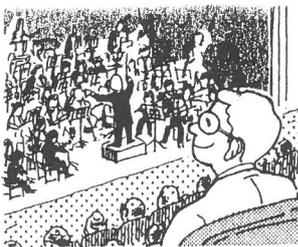
◆町内で行われている学習情報を幅広くお知らせするコーナーです。
お問い合わせは、生涯学習係まで。
☎26-2111(内線412)

第1回
石川地方交通安全大会



- 期 日 10月19日(水)
- 時 間 午後1時30分~
- 場 所 石川町総合体育館
(クリスタルパーク・石川)

大会終了後、アトラクションとして県警音楽隊や郷土芸能保存会等のすばらしい演奏が披露されます。町民の皆さんのご来場をお待ちしております。



年金コーナー

より高額の年金を受け取るための方法を教えて!



問 現在、保険料を納付していますが、将来より高額な年金を受けたいと思っています。何か良い方法はないでしょうか。

答 国民年金は、老後生活の基礎的な部分の保障を行うという考え方に基いて年金額の水準が決められています。そこで、自営業の人などで、より高額な

年金を受けたいと希望する人のために、国民年金基金制度が設けられています。この制度は、老齢基礎年金に上乘せし、給付を行うことを目的としており、第一号被保険者(自営業の人、農業にたずさわっている人と、自由業の人、学生等)だけが加入の対象となっています。掛金は、月額六万八千円の範囲内で自由に選べます。

特典としては、掛金が全額社会保険料控除となります。また基金の年金を受けるときは、老齢基礎年金と同様に公的年金等控除が適用されることになっています。

なお国民年金基金について詳しいことは福島県国民年金基金(☎〇二四五―二三―三三八七)までお問い合わせください。

国保だより

10月1日から
国民健康保険の一部が変わりました

先の国会で、医療保険について法律が改正され、国民健康保険は平成6年10月1日から、次のように変わりました。

入院時の食事代の一部が患者負担になります

入院したときの食事にかかる患者の一部負担が、次のようになります。

入院時食事療養費	一般の方		1日 600円
	①市町村民税非課税世帯数	3ヵ月目までの入院	1日 450円
		4ヵ月目以降の入院	1日 300円
	②市町村民税非課税世帯等の老齢福祉年金の受給者		1日 200円

上記①及び②の減額認定は、世帯主が申請書に市町村民税非課税証明書等を添えて、加入している市町村（老人保健は対象者が居住地を有する市町村）の窓口申し込んで認定を受けてください。

減額認定を受けますと、市町村（老人保健は対象者が居住地を有する市町村）より減額認定証が発行されますので、入院の際に被保険者証等と合わせて医療機関の窓口提出してください。

出産育児一時金が1児につき30万円支給されます

国保の被保険者が出産した場合、今までは24万円助産費が支給されていましたが、平成6年10月1日から、1児につき30万円の出産育児一時金が支給されることになりました。

新 高 和 尾 鎌 佐 熊 遠 岡
郎 木 知 崎 田 藤 藤 部
新 笑 茂 き 健 夏 幸 勝
婦 徹 子 則 子 善 恵 雄 江

住 所 里 市 室 町 木 市 曲 市 白 河 敷 新 屋 敷 浅 川 町

♡カップル誕生



鈴 近 近 矢 田 木 菅 野 荻 田 矢 安 鈴 瀬 根 氏
木 内 内 吹 口 戸 沼 内 野 畑 吹 倍 木 谷 本
豊 ス 廣 正 木 菅 野 荻 田 矢 安 鈴 瀬 根
郷 始 ミ 實 強 三 康 イ 徳 シ ン イ チ ネ 光 代 郎 名
77 94 77 83 71 82 69 87 65 89 83 83 89 90 82 年 齡
才 才 才 才 才 才 才 才 才 才 才 才 才 才 才 才
形 谷 双 中 谷 山 大 新 曲 沢 曲 下 坂 中 沢 住
見 沢 里 野 地 形 室 敷 木 井 木 泉 路 田 井 所

町の人口

(9月1日現在)

20,909 (+18)

男 10,251 (+2)

女 10,658 (+16)

世帯数 5,514 (+6)

()内前月比

10月17日は
貯蓄の日です



この機会に、自分なりの生活設計を立て、その目標達成のため貯蓄について考えてみましょう。子供の教育費や住宅取得費、老

現在の生活を満足させながら、将来も考え、消費と貯蓄のバランスある生活を心がけてください。

金融商品はいつでも利回りを下げずに解約できるかどうか(流動性)、あらかじめ約束された利息が確実にもらえるかどうか(安全性)、大きく資金が殖やせるかどうか(利殖性)を見極め、その特性を知った上で利用目的に合った商品を選び有効な資金運用をしましょう。

消費者コーナー

後の生活費、いつ起こるかかわからない病気や災害時の備えのための資金などは、計画的に蓄えておく必要があります。

戸籍の窓口

8月21日から9月20日まで届出分(敬称略)

いんげんは赤ちゃん

氏 名 保護者 住所
添田 剛史(春二・みさ子) 北山形
鈴木 英文(英次・京子) 高田
笠間 未希(義正・京子) 中野
遠藤 慎也(浩・喜美恵) 当町
郷 和博(義美・喜代子) 沢井
山田 未由(茂・和子) 古舘
大河原 千佳(正道・敦子) 塩沢
江尻 愛由美(昭男・富恵) 中野
中村 優美(清文・しづえ) 塩沢

酒井 彩花(光之・肇子) 長久保
小豆畑 健汰(和男・洋子) 山形
水野 ひかる(雅広・明美) 王子平
円谷 健一朗(健二・明美) 中野
須藤 拓巳(伸治・由美子) 大室
桑澤 徹(政一・和子) 矢ノ目田
堀井 香菜恵(明・百合子) 矢ノ目田
藤井 恵理香(隆一・きみ江) 双里

霊よ安らかに

小 林 功 寿
鈴 木 悦 子
瀧 川 仁 彦
安 藤 貴 子
下ノ内 郡山市 須賀川市 中田



国体成功は
町民総参加で

ふくしま国体秋季大会
開催まであと**368**日

シリーズ ⑥4

八月に開催された国体リハーサル大会では、式典コンビニオンとして参加し、来年十月に行われる本番を前に、さまざまな経験をさせていただきました。

来賓や役員の方々の接待から始まり、開始式や表彰式では、何ともいえない緊張感がたただよい、手

式典コンビニオン
榊枝 晶子さん

国体成功へ向けて
一人一役を

にも思わず汗をかいてしまう程でした。

連日の猛暑にもかかわらず、リハーサル大会には、子供たちをはじめ、たくさんの町民の皆さんが大会を成功させようと、一生懸命に取り組んでいました。特に、集団演技では、園児による可愛らしい動きをはじめ、小学生の組体操や琴の音による中学生の演技など、どの集団演技も目を引くものばかりでした。それだけではなく、一般の方々による合唱や和太鼓など、胸の奥にジーンと響き渡るも

のがありました。あれ程の感動を私たちに与えてくれたのですから、そのためには、たくさんの努力と頑張りがあったことと思います。

来年十月「友よほんとうの空にとべ！」のスローガンのもとに開催される「ふくしま国体」。この大会を成功させるためには、私たち町民一人ひとりが、町民運動に積極的に参加し、盛り上げていくことが大切だと思います。一人一役私も参加の気持ちで、国体成功に向けて、頑張っていきたいですね。

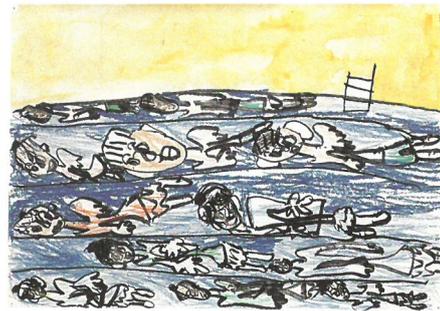


石川幼稚園 ⑨1



めぐろけいこちゃん
(6さい)

(大好きなおばあちゃん)



(プールでいっぱいあよいだよ?)



つげゆかちゃん
(5さい)

今月の納期

町県民税 (3期分)
国民健康保険税 (4期分)
国民年金 (10月分)
10月25日までに
納めましょう!



▼石川町に秋本番を告げる、石都々古和氣神社の例大祭が九月十四・十五日の両日、古町、当町、松木下、猫啼の四地区が当番町で行われました。雨の中での執行となり、お祭りを楽しみにしていた子供たちはちよつぱり残念…。それでも元気にみこしをかつぐ姿がとても印象的でした。▼今年で五回目を迎えた国際交流事業。研修生の皆さんは、オーストラリアで貴重な体験をすることができたようです。さらに今回は、オーストラリアからも日本の生活を体験したいと十七名の子供たちが石川町を訪れ、ホームステイなどで町民の皆さんとの交流が結ばれました。

編集後記

